

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	05800000	総務部 新庁舎整備	
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	K P I	02 総務費	01 総務管理費	06 企画費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート!				
中事業	02	主要な取り組み	スクラップorリノベーション&ビルド				
小事業	04	新庁舎整備事業		目標年度	令和6年度		
							あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合 目標値 120,000人 80.0%

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	現在の市役所本庁舎本館は築後61年が経過し、施設や設備の老朽化が進み、利用者にとっては狭く不便な建物となっている。また、防災拠点としての機能にも不安がある。 令和3年度まで、美濃太田駅周辺を整備地とする(旧)新庁舎整備基本計画(案)の策定を進めてきたが、令和4年3月に、市民との合意形成ができていないことを理由として、(旧)新庁舎整備基本計画(案)を白紙とすることを決定した。				
	事業目的	(1)対象 市民(来庁者)及び市職員 (2)目的 市民が安心して快適に暮らせるように新庁舎を整備する。				
	事業概要	安全で安心な庁舎、市民にとって利用しやすく、交流の拠点となる新庁舎の整備を推進する。 ・新庁舎の整備に向けた調査・研究を推進 ・庁舎建設基金の積立管理				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	114,831	1,269,458	116,848	122,269	
	決算額	104,759	1,257,651	115,026		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	4,160 /		1,794		

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	新庁舎整備基本計画の策定【R3年度】新庁舎整備検証【R4年度】(%)	目標値	100	100	100	
		実績値	80	0	100	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	新庁舎整備に関する認知度(%) 市民満足度アンケートにより効果測定	目標値	60	70	70	72
		実績値	58	59	70.7	

実 績	実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月~令和5年3月にかけて職員による新庁舎整備事業プロジェクト情報整理部会(部会3回)と検証部会(部会12回)により、なぜ多くの市民との合意形成ができなかったかについて検証を進めた。 検証結果に基づき、今後の進め方を示す新庁舎整備ロードマップを令和5年3月に策定。 令和4年7月に無作為抽出による市民4,000人を対象にアンケートを実施し、1,809人から回答をいただいた。
	効果	令和3年度までの市民意見の整理・集計、令和4年度市民アンケート調査、新庁舎整備事業プロジェクトチーム情報整理部会資料に基づき、新庁舎整備事業プロジェクト検証部会による検証の結果、これからの新庁舎整備の進め方を示す「新庁舎整備ロードマップ」を策定した。令和5年度以降は、新庁舎整備ロードマップに基づき進める。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和3年度までの市民意見の整理・集計と令和4年度の市民アンケートの実施により、市民の声を見える化することができた。 新庁舎整備事業プロジェクトチームの情報整理部会と検証部会の2つの部会により、新庁舎整備事業に関連の深い各計画等の情報整理と検証を実施することができた。 これらの検証結果に基づき、「新庁舎整備ロードマップ」を策定できた。 より分かりやすい活動指標とするため、R5年度から活動指標を新庁舎整備に関する周知(回数)に変更する。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和4年3月に、市民との合意形成ができていないことを理由として、(旧)新庁舎整備基本計画(案)を白紙とすることを決定した。その直後の令和4年8月に市民アンケートを実施したことにより、新庁舎整備に関する認知度が上昇した。
	実績からR05年度の事業の方向性	新庁舎整備ロードマップに基づき、令和5年度・6年度で基本構想を再策定し、令和6年度末での整備地決定を目標とする。新庁舎整備ロードマップのポイントである「これまでの新庁舎整備事業の検証結果を活用します」「市民の皆さんの暮らしとの関わりから、これからの美濃加茂市新庁舎を考えます」「市民の皆さんとの対話、市民参加を重視します」「積極的な情報公開を行います」に重点をおいて事業を進めていく。